



京都大学経営管理大学院
Graduate School of Management, Kyoto University

京都大学 情報学ビジネス実践講座

コースを選んで授業をご受講ください

責任者 京都大学経営管理大学院経営研究センター長・教授 若林 靖永
wakabayashi.yasunaga.8a@kyoto-u.ac.jp

詳細／お問い合わせはコチラ

情報学ビジネス実践講座 事務局

✉ PIB@gsm.kyoto-u.ac.jp

🌐 <https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/pib/>



なぜ「情報学ビジネス実践」なのか

- テクノロジーは変わり続ける
- 社会は変わり続ける

- 現代の生活、ビジネス、社会を支えるインフラとしてのデジタルテクノロジー
- 世界を変える武器としてのデジタルテクノロジー

- 情報学をビジネスに活用する力としての「情報学ビジネス実践」
- これからの仕事の基礎力・競争力としての「情報学ビジネス実践」

情報学ビジネス実践講座（産学共同講座）

実践的なITスキルの獲得
コース修了証書を授与



京都大学と協力企業が、デジタル時代の社会で活躍するために、ITとそのビジネスへの活用を実践的に学べる場を提供することを目的に設立した産学共同講座。

講義提供



京都大学



京都大学経営管理大学院
Graduate School of Management, Kyoto University



協力企業

ANAシステムズ

NTTデータ

DMG森精機

東京海上日動火災保険

三井住友銀行・日本総合研究所

日本電気

協働
連携



担当責任教員による本講座プログラム受講のおすすめ

現代のビジネスあるいは社会的事象において、武器でありツールであり業務や活動の基盤でもあるのがICT（情報通信技術）です。

スマホで様々なアプリを利用するのも、コンビニエンスストアで買い物するのも、ネットで買い物したりするのも、すべてICTが基礎となっています。

企業で管理、生産、販売、マーケティング、会計、サービスなどの業務を担当して働くうえでも、現代においてはICTを活用して行われます。

したがって現代社会において価値のある事業や活動を展開しようとするならば、ICTを理解し、構築し活用することが不可欠であり、決定的に重要になっています。

協力6企業と協働で実施する情報学ビジネス実践講座は、このような状況からこれから社会で活躍する上で不可欠なICTをビジネスに活用することに関する基本的知識とスキルを、学部生、大学院生が文理を越えて学ぶ機会を提供します。



経営管理大学院
若林 靖永 教授

情報学ビジネス実践講座 提供教育プログラム

ITリテラシー実践コース (学部生向け)

多様な産業における「IT」の全体像を俯瞰で捉え、ITの知見を獲得し、ビジネスにおけるITの課題解決を習得

科目名

- ・ 情報と社会
- ・ ITシステム構築のためのロジカルシンキングとプロジェクトマネジメント
(本講座実施協力科目 ILASセミナー)

ビジネス経営ITコース (大学院生向け)

企業の経営戦略の実現において不可欠な要素であるITについて、実務ベースに理論と実践の両面を学習

科目名

- ・ デザイン思考実践
- ・ ユーザー視点のITシステム設計実践
- ・ ビジネスにおける情報学の実践

イノベーション先端ITコース (大学院生向け)

企業・社会の課題解決に先端IT技術がどのように活用されているかを学び、産業界でイノベーションを主導する能力を習得

科目名

- ・ 人工知能特論
- ・ ビジネスデータ分析実践
- ・ AI技術利活用実践

全学共通教育・大学院研究科横断教育の制度を利用し、学部・研究科によらないすべての学部生・大学院生を対象に3つのコースを設置しました。ビジネスにおけるITの重要性を、様々な企業実務に基づき、実践的に習得するプログラムです。

(学部) ITリテラシー実践コース

科目名	単位	概要
情報と社会	2	<p>本コースの入口科目にあたり、企業経営とITの強い関連性、その全体像について理解する。協力企業それぞれの産業におけるIT開発・活用について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報学科所属の学生は、学科が指定する全学共通科目「情報と社会」を受講すること。 ●情報学科以外に所属の学生は、前期火曜5限に開講する全学共通科目「情報と社会」を受講すること。
情報学科目群	2	<p>デジタル・情報処理について理解を深める。データを編集・保存・分析する方法を理解する。コンピュータの仕組み、プログラミングなどを学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「情報と社会」「情報企業論」「イノベーションと情報」を除く全学共通科目の情報学科目群の中から選択すること。 ●特に「情報基礎」「情報基礎演習」「情報基礎実践」「Basic Informatics」「Practice of Basic Informatics」を推奨する。
情報企業論	2	<p>一般の企業が、【実践】において情報をどのように活用しているかを、【理論】の側から整理する。すなわち、ビジネスにおける、起業・構想・情報化・分析・拡大などの諸局面において、以下のような理論体系がどのように情報ツールとして活用されるのかを議論する。主要トピックス：イノベーション論、マーケティング、エスノグラフィ、情報システム論など。その他詳細はKULASIS等シラバス参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全学共通科目>情報学科目群>情報企業論
ITシステム構築のためのロジカルシンキングとプロジェクトマネジメント (本講座実施協力科目)(※)	2	<p>現代社会において、スマホアプリのような身近なものから企業間をつなぐ大規模なものまで、ITによって新たな価値を生み出すことが増えている。複雑な事象を整理し、伝えるためのロジカルシンキングと、プロジェクト成功のために欠かせないプロジェクトマネジメントの世界標準(PMBOK)を学び、実際のプロジェクト事例とグループワークで理解を深める。</p>

※ 「ITシステム構築のためのロジカルシンキングとプロジェクトマネジメント」は、本コース修了の要件とはしない



(大学院) ビジネス経営ITコース

科目名	単位	概要
デザイン思考実践 (※)	2	革新的な問題解決手法として注目されているデザイン思考についての理解を深める。ワーク等により実践的にデザイン思考を学ぶ。
ユーザー視点のITシステム設計実践 (※)	1	デザイン思考などによって問題解決案ができた次は「要件定義」、すなわちユーザー視点の要求を、アプリやソフトウェアの機能でどう具体的に満たすかを、ITシステム開発者側の実践シミュレーションを通して体感する。
ビジネスにおける情報学の実践 (※)	1	本コースのまとめ科目にあたり、IT技術、事業、経営の観点から企業のIT開発・活用について理解する。企業経営におけるITについての意思決定を実践的に学ぶ。
情報分析・管理系科目 ※計算・データ科学系科目は、イノベーション先端ITコース参照	2	大規模データの分析管理技術の仕組みを理解する、具体的な問題を解決できるスキルを習得する。「アルゴリズム」「情報企業論」「イノベーションと情報」を除く全学共通科目の情報学科目群の中から選択すること。 ※あるいは計算・データ科学系科目から選択でも良い。 ●情報分析・管理論 ●情報分析・管理演習 ●統計分析 ●情報システム分析論 (経営管理研究部のみ)
情報知財系科目	2	情報に関わる権利とその重要性について学ぶ。情報を保護するための法律や倫理について理解する。「著作権」「情報技術と帳票」など。 ●情報と知財 ●研究・事業開発マネジメント (経営管理研究部のみ) ●価値共創型IT活用論
セキュリティ系科目 ※イノベーション・サービスモデリング系科目は、イノベーション先端ITコース参照	2	インターネット利用に伴うセキュリティの重要性について学ぶ。利便性と安全性のトレードオフを理解する。「暗号と認証」「リスクマネジメント」など。 ※あるいはイノベーション先端ITコースのイノベーション・サービスモデリング系科目から選択でも良い。 ●情報学展望Ⅰ ●暗号と情報社会 ●情報セキュリティ

※2020年度までの科目「業務要件定義実践」は「ユーザー視点のITシステム設計実践」に読み替える。情報学研究科での本科目の科目名は2021年度も「業務要件定義実践」のまま、変更なしとする
※コース修了には、「デザイン思考実践」と「ユーザー視点のITシステム設計実践」のいずれかを履修で可



(大学院) イノベーション先端ITコース

科目名	単位	概要
人工知能特論	2	日本においても特別な存在ではなくなった「人工知能」は、更なる発展が予想され、企業の競争力においても重要な役割を担う。人工知能の歴史的背景から現在の進化、今後の展望に至るまでを整理したうえで、認識・分析・制御の観点から体系的に捉え、自らの専門領域で適用の可能性を考察する。
ビジネスデータ分析実践(※)	1	これからの社会において、世の中に溢れるデータをどのように扱い、いかに価値のある解決策を導き出せるかが重要。データ分析手法にとどまらず、ビジネスにおいてどのように活用すべきか、一連の流れを実践形式で学習する。
AI技術利活用実践(※)	1	凄まじいスピードで進化を遂げる世界において、いかに新しい技術に触れ使いこなすかはビジネスパーソンにとって非常に重要な要素である。その手法や意識しておくべきマインドを実践形式で学びながら習得し、同時に先端技術の動向について、トレンドと展望を掴む。
計算・データ科学系演習科目	1	高精度計算と高速計算の基礎、並列計算技法を学ぶ。数値シミュレーションによる統計的手法を学ぶ。「数値計算」「ベイズ統計」などを、演習を通じ学ぶ。以下の科目から履修可能な科目を選択し、履修すること。 ●計算科学演習A ●データ科学:理論から実用へ演習Ⅰ、Ⅱ
計算・データ科学系科目 ※情報分析・管理系科目は、ビジネス経営ITコース参照	2	最小二乗法についてその概念や利用法を理解する。「ベイズ統計」「マルコフ連鎖モンテカルロ法」などを学ぶ。「最小二乗法プログラミング」「MCMC」などを学ぶ。以下の科目から履修可能な科目2単位分を選択し、履修すること。※あるいはビジネス経営ITコースの「情報分析・管理系科目」を履修でも良い。 ●計算科学 ●データ科学:理論から実用へⅠ、Ⅱ ●データ科学展望Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ
イノベーション・サービスモデリング系科目 ※セキュリティ系科目は、ビジネス経営ITコース参照	2	イノベーションや価値創造の背景や論理について学ぶ。「ITサービス」に焦点を当て、サービスモデルについて学ぶ。「サービスプロセス分析」「サービスモデル活用」などを学ぶ。以下の科目から履修可能な科目2単位分を選択し、履修すること。※あるいはビジネス経営ITコースの「セキュリティ系科目」を取得しても良い。 ●イノベーションと情報 ●サービスモデリング論 ●イノベーションマネジメント基礎 ●サービス創出方法論 ●研究・事業開発マネジメント ●価値共創型IT活用論 ●事業デザイン論 ●サービスモデル活用論

※2020年度までの科目「先端技術利活用実践」は「AI技術利活用実践」に読み替える。情報学研究科での本科目の科目名は、2021年度も「先端技術利活用実践」のまま、変更なしとする

※コース修了には「ビジネスデータ分析実践」と「AI技術利活用実践」のいずれかを履修で可



情報学ビジネス実践講座 コース登録はここから

ニュース一覧

講座について

プログラムの概要

ITリテラシー実践コース

ビジネス経営ITコース

イノベーション先端ITコース

集中講義・セミナー

受講について

コース登録フォーム

終了生インタビュー

情報学ビジネス実践共同講座

TOP

概要

クリック

設置期間

京都大学情報学
ビジネス実践講座 HP



ポートフォリオを使いましょう

STEP1 コース登録

「詳細」をクリック

「編集」をクリック

←学部生対象

←修士・博士課程対象

希望のコースの修了年度を選択（後で変更可）

修了年度選択後、「更新」をクリックでコース申し込み完了！

コース修了予定年度	
(学部) ITリテラシー実践	
(大学院) ビジネス経営IT	
(大学院) イノベーション先端IT	

コース修了予定年度	
(学部) ITリテラシー実践	←学部生対象
(大学院) ビジネス経営IT	
(大学院) イノベーション先端IT	←修士・博士課程対象

コース修了予定年度	
(学部) ITリテラシー実践	<input type="text"/>
(大学院) ビジネス経営IT	2021
(大学院) イノベーション先端IT	2022

ポートフォリオを使いましょう

STEP2 で修了に必要な科目を確認したら **STEP3** で 受講申込・合否確認

受講申込・合否確認						
科目名	受講申込（受講定員を超える申込があった場合、履修登録者やコース登録者を優先します）	受講年度	受講可否	合否（科目に合格しても、別途履修登録をしていなければ、卒業（修了）要件単位にはなりません）	合格証（科目合格証が必要な場合は、pib@i.kyoto-u.ac.jpへ、科目名と理由を添えて申請してください）	備考
(学部) ITII						

「編集」をクリック

受講したい科目の行の「青いマーク」をクリック

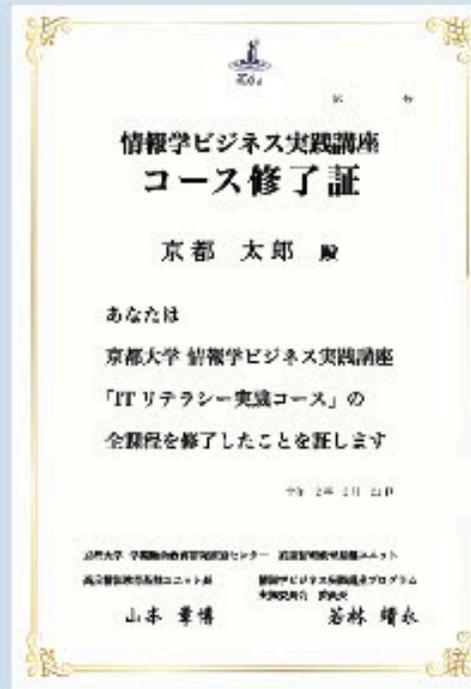
ユーザー視点のITシステム設計実践							<input type="checkbox"/>
デザイン思考実践							<input type="checkbox"/>
ビジネス							

次ページに続く→

コース修了証が授与されます (2月)

修了式

各コース修了者にコース修了証が授与されます。





京都大学経営管理大学院
Graduate School of Management, Kyoto University

京都大学 情報学ビジネス実践講座

コースを選んで授業をご受講ください

責任者 京都大学経営管理大学院経営研究センター長・教授 若林 靖永
wakabayashi.yasunaga.8a@kyoto-u.ac.jp

詳細／お問い合わせはコチラ

情報学ビジネス実践講座 事務局

✉ PIB@gsm.kyoto-u.ac.jp

🌐 <https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/pib/>



アンケートご協力をお願い

下記のQRコードからアクセスして
ご回答ください

全参加者用



経営管理
大学院生専用
(ポイント適用)



「情報学ビジネス実践講座」 申込方法

下記のQRコードからアクセスして
コース登録フォームに入力・送信

